

計画停電時の対応

「エレベーター」の場合

ご利用時に停電になると、かご内に、ご利用者が閉じ込められるおそれがありますので、下記事項を遵守願います。

●事前にエレベーターを休止

1. 計画停電の開始前に余裕をもってエレベーターを休止してください。
休止は、計画停電の開始間際のタイミングでは間に合わないことがあります。
なるべく早めに休止するように心がけてください。

※油圧エレベーターの場合、休止は必ず最下階で行ってください。

2. 停電が復帰したことを確認したら、エレベーターを平常運転に戻してください。

●平常運転に戻すときの注意

平常運転に戻す際、次の要領で試運転を行ってください。
試運転は、かご内に1人、乗場に最低1人の、2人以上で行ってください。
※1人で試運転を行った場合、閉じ込められるおそれがあります。

1. まず、かご内に人がいない状態で最上階から最下階の間で1往復させ、異常の有無を確認してください。
2. 異常がないことを確認したら、かご内に乗りこみ、同様に1往復運転し、異常の有無を再度確認してください。



「エスカレーター」の場合

ご利用時に停電になると、不意にエスカレーターが停止し、ご利用者が転倒などでケガをするおそれがありますので、下記事項を遵守願います。

●停電が予告されたら

1. 利用者に対して、事前に案内板や放送などで、停電によって休止することをお知らせください。
2. 計画停電の開始前に余裕をもってエスカレーターを休止してください。
3. 停電が復旧したら、運転を再開してください。

休止させるときの手順・平常運転に戻すときの手順

「エレベーター」の場合

＜乗場休止スイッチ付エレベーター＞

● 休止させるとき

1. 乗場休止スイッチに三菱エレベーター専用鍵を差し込み、「運転」から「休止」へ切り替えてください。
2. かごが特定階に到着、戸が開閉した後に休止となります。戸が開いたときに、かご室内に利用者がいないことを必ず確認してください。



● 平常運転に戻すとき

乗場休止スイッチに三菱エレベーター専用鍵を差し込み、「休止」から「運転」へ切り替えてください。エレベーターは、ただちに平常運転に戻ります。



＜乗場休止スイッチのないエレベーター＞

● 休止させるとき

1. 三菱エレベーター専用鍵を準備してください。
2. かご室内に入り、戸が閉まらないようにかご操作盤の戸開きボタンを押したまま、次の操作を行ってください。
 - (1) かご操作盤の開戸を開錠して開きます。
 - (2) 「運転-休止スイッチ」(油圧の場合は「運転-床合付休止スイッチ」)を「運転」側から「休止」側へ倒します。

※機種によっては、ゆっくりと戸が閉まり始める場合がありますので、閉まり切らないよう措置願います。

3. かご操作盤の開戸を閉めて、三菱エレベーター専用鍵を抜き取ってください。



● 平常運転に戻すとき

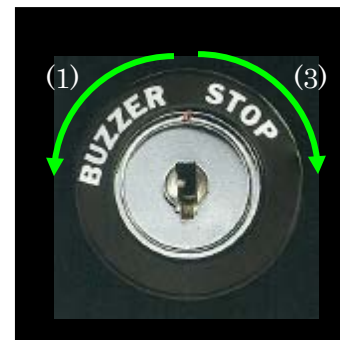
1. 三菱エレベーター専用鍵を準備してください。
2. かご室内に入り、かご操作盤の開戸を開錠して開いてください。
3. 戸開きボタンを押したまま、次の操作を行ってください。
 - (1) 「運転-休止スイッチ」(油圧の場合は「運転-床合付休止スイッチ」)を「休止」側から「運転」側へ倒します。
 - (2) 開戸をカチッというまで閉めて、三菱エレベーター専用鍵を抜き取ってください。



「エスカレーター」の場合

● 休止させるとき

1. 三菱エスカレーター専用鍵を準備してください。
2. 操作盤にて次の操作を行ってください。
 - (1) 警報ブザースイッチに三菱エスカレーター専用鍵を差し込み、「BUZZER」側へ回してブザーを鳴らしてください。
 - (2) 踏段上に利用者がいないことを確認してください。
 - (3) 停止スイッチに三菱エスカレーター専用鍵を差し込み、「STOP」側へ回して運転を停止させてください。
 - (4) 三菱エスカレーター専用鍵を中間の位置に戻し、必ず抜いてください。
3. 停止中のエスカレーターが階段がわりに使われないように、防護柵などで進入防止措置を行ってください。



● 平常運転に戻すとき

1. 三菱エスカレーター専用鍵を準備してください。
2. 操作盤にて次の操作を行ってください。
 - (1) 警報ブザースイッチに三菱エスカレーター専用鍵を差し込み、「BUZZER」側へ回してブザーを鳴らしてください。
 - (2) 周辺や踏段上に利用者がいないことを確認してください。
 - (3) 起動スイッチに三菱エスカレーター専用鍵を差し込み、どちらか運転させたい方向（「UP」側または「DOWN」側）へ回してください。
 - (4) 三菱エスカレーター専用鍵を中間の位置に戻し、必ず抜いてください。
3. 防護柵など進入防止措置を取り外し、運行を開始してください。

